

5年ぶり再開、天人峡羽衣の滝遊歩道

6月11日、天人峡羽衣の滝の遊歩道が5年ぶりに通行再開しました。同所を管理する関係者が出席して遊歩道再開オープンに先駆けて同所でテーパーカットを行いました。



を誇り、「日本の滝100選」にも入っている名瀑。5年前の2013（平成25）年5月、融雪期の落雪で遊歩道の一部と旧滝見台が忠別川源流部川床に崩落しました。この事故で天人峡温泉地区から同滝に至る遊歩道（634㍎）が通行不能になり、土留め柵設置、遊歩道直下の忠別川源流部右岸の護岸工事、転落防止柵設置、公共トイレ改修、旧橋の撤去と新橋建設（長さ34㍎、幅1・5㍎）など復旧工事を進めてきました。

松岡町長は「閉鎖していた5年間は、東川にとつて大雪山の文化を掘り起こす機会でもあった。大雪山アーカイブスが出来、町内写真家の大雪山写真集が出来、写真甲子園の映画が完成した。東川の文化と併せて、自然の素晴らしさ、先人との関わりを伝え、さらに魅力が高まる」と再開を喜びました。羽衣の滝は道内最大の落差270㍎

6月10日、キトウシ森林公園をスタート、ゴールに、キトウシサイクリング実行委員会（町、東川町農協、旭川サイクリング協会、東川振興公社、ひがしかわ観光協会、東川町商工会）主催の第1回キトウシ国際サイクリング大会が開かれ、参加者が新緑の中を快走しました。最高気温18・5度（午後3時20分）

キトウシ国際サイクリング大会

と心地良い一日。5歳から85歳まで440人がAコース（63㍎）、天人峡まで往復）、Bコース（48㍎、忠別湖を周回）、Cコース（24㍎、東12号南折り返し）の3コースに分かれました。町立日本語学校で学んだ元研修生の



わい、地元のホテル、飲食店からラーメン、ジギスカン、豚丼、カレーなどの店も並んで食欲をそそるにおいもいっぱい。たいまつを手次々と入場したアイヌの人たちが大かがり火に火を付けると夜の祭りは最高潮へ。祭壇で座を囲んでアイヌの神々に無事故と山の安全を祈り、神々にアイヌメノコの踊りと剣の舞いを捧げました。儀式が終わると、かがり火を囲んで来場者みんなで踊りめぐり、会場が一つになって山の安全を祈願しました。

山のまつり、スプリングカムイノミで山開き

6月16日、旭岳温泉第60回旭岳山のまつりとチカップニアイヌのヌプリコロカムイノミの儀式で山開きを行い、大雪山旭岳（標高2千291㍎）が今年の夏山開きを告げました。



旭岳ロープウェイ山麓駅前で安全祈願祭を行い、引き続き青少年野営場（標高千100㍎地点）で山のまつりを行いました。午後7時半、気温約14度、穏やかな夏山開きを迎えました。町内で日本語を学んでいる台湾、ベトナム、タイなど各国の留学生、観光宿泊客らでにぎ

韓国からスキー交流実現へ代表団が来町

5月25日、韓国・カソウオンド（江原道）のスキー協会関係者が来町して東川町とのスキー交流に向けて初めての意見交換を行い、今冬12月から韓国側高校生が来町合宿、東川高校生も一緒に参加して交流を始めることになりました。



ずは実力を上げて国内上位入賞するのが当面の目標。海外大会に進出することはまだ考えていない」との現状を示しました。リー会長は双方の実力差にはこだわらない考えを示すなど、率直に意見交換しました。キム・テースン後援会長は「スキー訓練のため旭岳には20年前から行き来している。始まりは小さくとも両校の文化交流が広がれば良い。韓国に戻ったら、『君の椅子』もぜひ提案したい。私たちはすでに交流開始の準備が出来ています」などと話が弾みました。

再来、本場ニューヨークジャズ公演

6月1日、せんとびゅあI（旧称・文化芸術交流センター）で「ニューヨークジャズ・エクスプレスウェイ」の2年ぶり4回目の来町公演と2回目の演奏指導が実現しました。



が作曲したオリジナル曲「東川ブルース」、さらに東川小スクールバンド19人が加わって、70人のビッグバンド編成で「エル・クンバンチェロ」（ラファエル・エルナンデス作詞、作曲）を合同演奏。3日間の練習で見違えるほど成長した演奏に会場からは何度も拍手が。

リー・フナムカン ウオンドスキー協会会長、キム・ヒョンシー江陵中央高校校長、パク・ビョンウー江陵中央高校スキー部監督、キム・テースン江陵中央高校スキー部後援会長の4人が来町しました。今年4月に発足した道立東川高校スキー部（クロスカントリー）と江陵中央高校スキー部との交流に向けて意見交換を行いました。松岡市町長は「刺激を受けることは、お互いの技術向上に必要」と交流実現に期待を示しました。リー会長は「東川高校の生徒が韓国の大会に出場する段階になったら、両校で交流協定を」と協定締結時期を示唆すると、渡辺文貴東川高校校長は「ま

5月26、27の両日、キトウシ森林公園で第64回からし楽しくフェスティバルが開かれました。

5月26、27の両日、キトウシ森林公園で第64回からし楽しくフェスティバルが開かれました。家庭菜園、庭づくりの本格シーズを迎え、野菜の苗販売が大好評。ナス、トマト、ピーマン、なんばん、ししと



う、キャベツなど、一日で売り切れる人気品種も。地場産野菜の直売も大人気。ステージでは、アイドルグループ「G・E・E・K」が初登場。若い女性ファンの熱い声援が飛んでいました。